



鹿屋市立 細山田中学校

生徒数 94 人
学級数 5 クラス



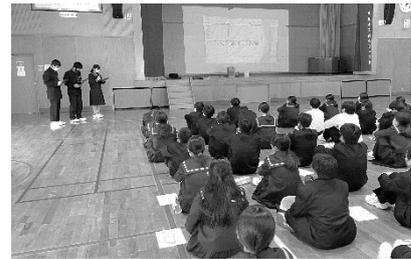
《テーマ》 一人一人を大切にす人権教育の推進

研究に当たって(テーマ設定の理由)	研究の実際
<p>自尊感情の低さやいじめ、不登校など、生徒一人一人が抱える課題が多様化する中、生徒、職員、保護者が一体となって本校の課題を共有するとともに、「チーム細山田」として教育活動全体を通じた取組を継続させ、人権尊重の精神を学校全体に根付かせたいと考え、本テーマを設定した。</p>	<p>4月11日(火) 全校生徒による「いじめゼロ宣言」 6月27日(火) 職員研修(自己肯定感を育む指導) 7月6日(木) PTA家庭教育学級 9月7日(木) 職員研修(ハンセン病問題) 11月7日(火) 星塚敬愛園訪問 11月29日(水) 命の授業(がん教育) 12月5日(火) 職員研修(性的マイノリティへの理解) 1月26日(金) 全校生徒による人権学習 通年(学期に2回) 構成的グループエンカウンター</p>

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

□ 全校生徒による「いじめゼロ宣言」

生徒会役員が、「細山田中いじめゼロ宣言」を提示し、全校生徒によって採択された。新学年のスタートに当たり、改めて、いじめはしない・させない・見逃さない、そして、居心地のよい学校をつくることを、生徒、職員がともに決意する機会となった。



【全校生徒による「いじめゼロ宣言」】

□ PTA家庭教育学級

家庭における人権意識の高揚をテーマとして講演会を開催した。子どもの「自尊感情」を育むこと、そして自分自身の「人権」を大切にすることなど、気付かされることがとても多かった。

また、SNS等を介した人権侵害の実態を提示いただきながら、保護者への啓発を促すことができた。



【PTA家庭教育学級】

□ 星塚敬愛園訪問

ハンセン病問題について事前に学習した後、星塚敬愛園を訪問し、講話を聴いたり、展示物を見学したりして過去にあった差別の実態を知るなど多くのことを学び、感じる事ができた。



【星塚敬愛園訪問】

□ 構成的グループエンカウンター

「自分の考えや気持ちを伝える」「相手の話をしっかり聞く」「相手のことを理解する」という決められた流れの中で人権感覚を磨き、相互理解や信頼関係を深めることを目的とし、学期に2回、年間を通して実施した。互いの理解が深まり、充実した仲間づくりの機会となった。

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと)

- 本校におけるこれまでの取組と併せ、本プロジェクトによる専門的な講話や研修により、生徒・保護者・職員が人権教育は全ての教育の根幹であるという認識を更に深めることができた。また、好ましい人間関係の在り方について、一人一人が考え直す機会となった。
- 人権同和教育は自分の生き方を見つめ、共に人生観を築き上げる教育であると言われている。今回の実践を契機とし、各教科や領域など、学校の教育活動全体を通して更に取組を充実させるとともに、生徒の自尊感情や自己有用感の涵養に資することができるよう、職員一体となって人権・同和教育の推進に努めたい。